

フジテレビ系月9ドラマ「海のはじまり」より 海のはじまり

作曲：得田真裕 ピアノアレンジ：すぎやまみゆき

7月期に放送された、フジテレビ系月9ドラマ『海のはじまり』のオリジナルサウンドトラックに収録されているナンバー。テーマとなっている“親子の愛”を通して描かれた家族の物語で、この曲のリクエストが編集部に多く届きました。美しい旋律でドラマのシーンが思い出され、心地良さと涙を誘うピアノで演奏したい名曲です。

得田真裕



メロディのフレーズを意識して演奏しましょう。①のメロディは裏い【ド】の音（加減2本）が多く出てきます。この【ド】の音はとくに気をつけて、短くならないように演奏しましょう。一度、フレーズを意識しながらメロディを単音で弾いてみるとよいでしょう。②、③は音域が広がります。視野を広くとり、落ち着いた動きでなめらかに弾いてください。最後の小節のアルペジオは、左手から右手へ1本のアルペジオのように渡してください（記譜は都合上、両手にアルペジオを付けています）。全体を通して、テンポキープを心がけましょう。

ショートドラマ「トリッパーズ」主題歌 一難

作詞：大原拓真/浪岡真太郎 作曲：浪岡真太郎 ピアノアレンジ：渋谷絵梨香

この夏スタートした、ショート動画製作支援プロジェクトの「AS CREATION PROJECT（アスクリエーションプロジェクト）」の第1弾となるショートドラマ作品『トリッパーズ』の主題歌がこちら。ソウルフルなツインボーカルとラテン系のアップーサウンドが印象的なナンバーで、Penthouseらしい軽快なリズムも見逃せないポイント。

Penthouse



ワンコーラスサイズのアレンジです。b5つのキーで始まり、途中でF2つのキーに転調します。臨時記号も多いので、ていねいに確認してみてください。右手・左手ともに休符の長さをきちんと守りましょう。とくに16分休符は正確に。基本のビートは16ビートになりますので、常に意識しながら演奏してください。右手の裝飾音符は力を抜いてさりげなく。

(Original Key: A^b)

♩=53 Fm7 A D^b D^bm6

(Original Key: B^m)

♩=122 A G^bM7 F7 B^bm7 7

おわらせ ないで

マイでおどりあーろ

をーつかん だーら

さ だし て

A^bm7 G^bM7 F7



はいよろこんで

こっちのけんと

作詞：こっちのけんと 作曲：こっちのけんと&GRP ピアノアレンジ：安藤佐知子

今年5月に配信リリースされた6枚目のシングル曲、「はいよろこんで」のミュージックビデオは、昭和30~40年代に人気となった大人漫画の画風で制作されており、懐かしさもあり新鮮な映像になっています。楽曲にはさまざまな仕掛けがありそうで、楽譜や歌詞、映像を見ながらピアノの練習前に分析してみたいかながですか。

(Original Key : Bm)

♩ = 147

(N.C.)

リズムが少し複雑です。読譜みを正しく行いましょう

1 2 3 1 1

Am7 GM7

1 2 5

「あ

GM7 F#7 Bm7

ハ ッ ツ シ ン で」

左手が入るタイミングに注意!

a7 B GM7 F#7 Bm7

2

た の た め に」 さ し の び て き た て

1 2 1 3

あわてず落ちついて弾きましょう



イントロはリズムが少し難しいですが、テンポを落として、カウントしながらよく部分練習をしましょう。①、②、③の左手は、休符をしっかりと感じてリズムカルに弾きましょう。④7小節目でクレッシェンドして、8小節目で音量を落として、もう一度クレッシェンドします。⑤の右手は、半音の動きが多いので、音を間違えないよう気をつけましょう。最後の右手は明確します。リタルダンドして、慌てないで弾きましょう。

ユニバーサル・スタジオ・ジャパン「ソンビ・デ・ダンス」テーマソング

唱

Ado

作詞：TOPHAMHAT-KYO (FAKE TYPE) 作曲：Giga/TeddyLoid ピアノアレンジ：川田千春

昨年も大人気だったAdoの「唱」が、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで現在開催中の『ハロウィーン・ホラー・ナイト』に今年も登場。テレビCMなどでも耳にする機会があるこの楽曲は、子どもから大人まで幅広い世代に大人気です。今回は入門のらくサビバージョンとなっており、初心者の方でもぜひチャレンジしてください。

▼中央のド



☆左手の弾き始め ☆右手の弾き始め



超入門

右手は左ページと右ページの音がまったく同じなので、そのまま繰り返すイメージです。左手はメロディ音を強く弾く場所もあるので、弱くならないように気をつけましょう。最後の小節では左手が右手を越え、高い[ソ]の音を弾きます。腕をグッと伸ばして、カッコよくキメてください!

シ レ—シ ラ ラ

Nah - Nah - Nah

ワ バ ン ザ イ

左手でメロディを弾きます。音が弱くならないように!

シ ラ ソ シ ラ ソ

ぶ き Shout it out, Shout it out



TBS系 火曜ドラマ「くるり〜誰が私と恋をした?〜」主題歌

I wonder

Da-ICE

作曲：花村想太/MEG.ME/Louis ピアノアレンジ：事務員G

今年の4月期に放送された、TBS系火曜ドラマ『くり〜屋が私と恋をした?〜』の主題歌「Wonder」。軽快なリズムと色彩豊かなメロディが印象的で、動画サイトのミュージックビデオの人気も高くロングヒットとなっています。22ページから掲載している講座と一緒に楽しみください。

冒頭に[ッ]の音の連打がありますが、大変な場合は8分音符を2つにしても構いません。8分音符のタイが大事な、リズムカナル楽法です。音が鳴っていないところでも常にビートを感じ、メリハリのきいた演奏を心がけてください。団は心が震揺するような華やかなセクションですが、それに引き立てられて、テンポが上らないよう気を付けてください。

(Original Key: G^b)

♩ = 125

A C

D7sus4

× D.C.
(m7)

(D.C. time)

Bm7 E7

Am7 C#D

© by S. Hanamura & MEI

旭化成不動産レジデンス ブランドCMソング

橙

Mrs. GREEN APPLE

作詞・作曲：大森元貴 ピアノアレンジ：川田千恵

2023年7月にリリースされたアルバム『ANTENNA』に収録されていたナンバー。今年8月に強化成不動産レジデンスのブランドCMソングとして採用され、再び注目を集めています。この夏のスタジアムツアーでも披露され、夕暮れの中演奏している動画がバンドオフィシャルアカウントから配信されているので、こちらもチェック！

ゆったりとしたバラードソングですが、1拍ごとのビートを感じながら、リズムのノリを多少意識したような演奏ができるとういでしょう。とくに④(サビ)では、左手は低音部でしっかりとビートを刻みながら、右手はそれに負けないよう、和音で力強くメロディを導いてください。

(Original Key: G)

♩ = 75

C G D Em7 C G

mf

A G G^{emB} C A

な ん だ ひ び を お

ひ に み た ゆ う

C D

や け ぞ

か た り あ え ば げ ん

B sus4 G Em7 G^{emD}

ふ が か か る *mf* い つ だ っ て ば く ら は あ の

© by M. Ohmori

枯葉

作曲：ジョゼフ・コズマ ピアノアレンジ：ござ

フランスのシャンソンの名曲として愛されている「Les Feuilles Mortes」、英語表記では「Autumn Leaves」となります。ジャズの演奏でも多くアレンジされており、ジャズをイメージされる方も多いのではないのでしょうか。日本でも1950年代より歌われ、シャンソンブームとともに「枯葉」は当時から高い人気を誇っていました。

ジャズ奏者の演奏をベースにしたスウィング調のアレンジ。一定のテンポを崩さず、ノリ良く演奏することが理想ですが、最初はゆっくりでももちろん大丈夫です。mpの箇所では静かな中でアクセントを際立たせながら弾き、♪の所はカッコよく、リズムカルに決めましょう。音を出すところは出し、抑えるところは抑えることを細かく徹底することで、よりジャズのニュアンスに近づきます。



Les Feuilles Mortes
© 1945 by Joe Hain
lyrics by Jacques Prévert
music by Joseph Kosma
Copyright 1947 by
Rights for Japan assign.

Copyrights Paris.

Japan, Tokyo.



里の秋～プッチーニ風～

作曲：海沼 實 ピアノアレンジ：大室 博

2024年に没後100年を迎えたイタリアのオペラ作曲家、プッチーニ。当時の異国趣味（オリエンタリズム）を巧みに取り入れ、『蝶々夫人』や『トゥーランドット』など、東洋を舞台にした作品を残しています。今回は、そんなプッチーニの名作と日本の唱歌「里の秋」を組み合わせたスペシャルアレンジをお届けします。どうぞお楽しみください。



YouTubeで参考音源が聴けます ▶

『トゥーランドット』や『蝶々夫人』など、プッチーニのオペラには東洋的な世界への憧れを感じさせるものがありますが、そこからヒントを得て「里の秋」の音楽をプッチーニが描く東アジアという視点でアレンジしました。『トゥーランドット』を思わせる中華風なモチーフ、シンコペーションを用いたリズム感覚、ユニゾンでメロディを劇的に歌うところなど「プッチーニっばさ」を感じていただければ幸いです。演奏では余裕のあるテンポを保ち、歌うところではためらうことなく感情をストレートに表現しましょう。

